

わらどん

平成28年3月16日

発行責任者
早川北小学校
校長 一瀬純司

地域学習発表会

総合的な学習の時間に 地域のことを調べました

三月十一日(金)、十月から約三十時間かけて調べ、まとめた『地域学習』の発表会を行いました。これは、『総合的な学習の時間』を使って、三年生以上の児童が、ひとりひとり別のテーマを持って地域を調べる授業の成果発表です。

情報機器のアイパッドを巧



みに使いこなし、原稿もなしに発表する様子は、大人顔負けでした。極小規模校の長所が如実に表れていました。

お忙しいにも関わらず、児童の質問に懇切丁寧に答えてくださったみなさま、また、発表会にお越しくださったみなさま、本当にありがとうございました。

六年生英語劇

新倉の民話をとりにあげました

二月二十六日(金)の給食後に、六年生が英語劇を披露しました。

今回の劇は新倉に伝わる民話『ちからじまんのおとこ』を脚色した『パワー・オブ・ミソスープ』でした。

配役には六年生だけでなく、担任の近藤先生やALTのカール先生も加わって、とても楽しい、また、とてもすてきな英語劇に仕上がっていました。



観客の児童は大喜びでした。

特別授業『お宝発見』 澤村さんご夫妻をお招きして

二月十九日(金)に第三回目の特別授業「お宝発見」がありました。

雨畑の澤村義之さんと律代さんのお二人にお話をいただきました。東京での仕事を辞め、武田信玄と山が好きで、雨畑に来て、現在は、硯の里キャンプ場での管理運営や林業の仕事しながら、雨畑紅茶が早川町の特産品となるようにがんばっております。

また、舞踊集団「酔茶晴組」のメンバーとして町内外で活躍しています。

今回は、夏休みに行っている「子どもキャンプ」の様子や、雨畑紅茶の話と試飲、そして「酔茶晴組」の活動の様子を教えてくださいました。「人生はチャレンジ」「何事も本気で」「続ける事が大事」という言葉が子どもたちの心に強く残りました。



原作では力自慢の男が大きな石を持ち上げさせられて死んでしまうのですが、この劇では、一度は持ち上げられなかった重い荷物を、みそ汁を飲んで持ち上げるというハッピーエンドになっていました。

三年間、あながいじつまつた

私(一瀬)は、三月をもって定年退職いたします。北小児童のご家族のみなさま、地域のみなさま、たいへんお世話になり、本当にありがとうございました。

学校だより『わらどん』は最終号です。でも、早川北小学校へのご支援・ご協力を、今後ともよろしく願っています。



早川北小のすてきな仲間たち

